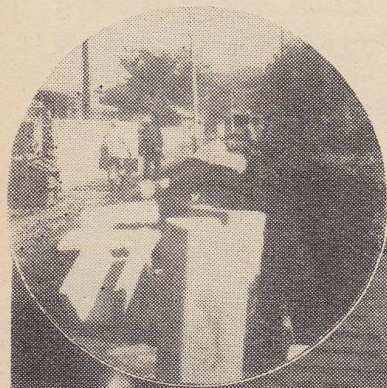


昭和40年度の市政重点施策として環境の整備、産業の振興、建設業事の推進教育の振興、財産造成事業の推進などを上げ、市民のご理解ご協力のもとにそれぞれの事業が進行しております。

今号から4回にわたり、重点施策としてとりあげてきたこれらの事業がどのように進められているか、また、これらの事業の達成見込みなどについてお伝えしたいと思います。



順調に進む本年度の重点施策

その1 環境の整備事業

「明るく、住みよいまちづくり」

これはどこの市町村でもキャンペーンとして大きくとりあげている問題である大館市の場合、火災復興事業のみに追れた感があるが、環境の整備事業は市政はじまって以来の一つの主眼であり、火災復興とともにあゆんできた事業の一つでした。

市でも、昨年あたりから、この環境整備事業にはとくに力点をおき、清潔なま

ちづくりのため毎月全世帯に薬剤を配付し、カ、ハエの駆除を実施し、大きな効果を上げてきている。

本年度は、このカ、ハエの発生源ともいわれる測溝の整備を大きくとりあげ、ことしから5ヶ年計画で全市の測溝を整備するため1千万円を予算計上し、すでにU型ブロックの測溝を30町内にわたって完成させております。

現在は、相染住宅地の測溝工事にとりかかっており、測溝の整備は日増に全市の道路に向けて進められています。

また、ゴミ処理の問題については、本年度頭初の目標であったポリバケツによるゴミの定時収集も

5月27日からは 御成町地区

7月12日からは 大町通りの西側

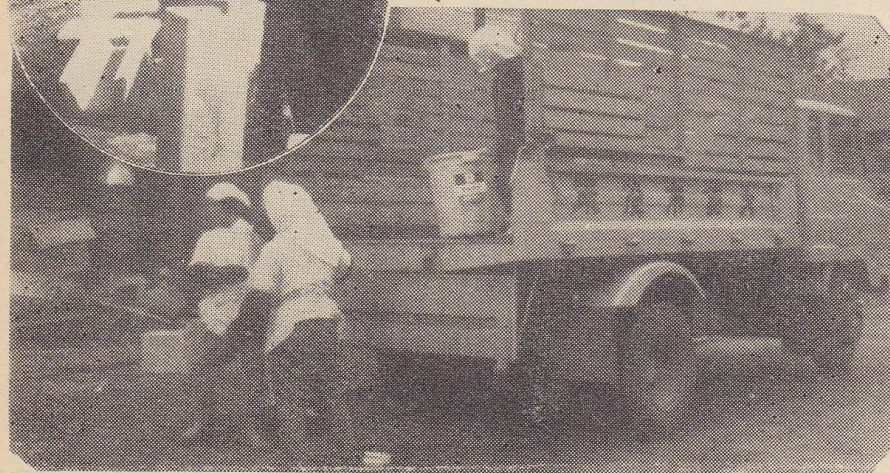
8月30日からは 大町通りの東側

の順に旧市内全町内をこの定時収集にきりかえ、いまでは、ゴミ箱のない、整然としたまちに生れ変わろうとしている。

定時収集には、市の収集車が6台出動し、市内、568ヶ所の収集場所を毎日のごとくかけめぐり、ゴミ箱のないまちづくりに努力している。

市内からは1日に15トンものゴミが集められ、このゴミは現在では片山に捨てられていますが、衛生都市をめざす当市としても、来年度ごろには、じん芥処理場の建設を具体的に検討し、ばく大なゴミ処理に対処する方針をもっている。

(写真・ゴミの定時収集車と測溝工事現場)



自衛隊協力会が誕生

災害派遣をはじめ、観光道路等の活躍などで国民の信頼を集めている自衛隊員の方々に励まそうと、市内の有志の方々に、自衛隊協力会をつくりました。

協力会では、会事業の一つとして、大館市出身者に毎月、広報紙などを送り、郷土の動きを伝え、隊員の方々に激励することになっています。

重度の精神薄弱児に扶養手当を支給

申請は福祉事務所へ

国では、重度の精神薄弱児に対する生活保障と、養育者の方々に対する介護料的な意味あいから、昭和39年8月に「重度精神薄弱児扶養手当法」をつくっております。この法によると、重度精神薄弱児とは、精神薄弱の程度を重、中軽度に分類し知能指数がおおむね35以下である児童が重度精神薄弱児ということになります。

また、精神発達がおくれているため、日常生活において、常時の介護を必要とする児童も、重度精神薄弱児として扶養手当の該当になります。

扶養手当の額は、1人につき、月1,200円となっておりますが、標準世帯(扶養親族5人)の扶養義務者の収入が年額72万円を越えておる場合は、支給されません。

このような子どもさんをお持ちの方は市の福祉事務所に相談してください。

なお、そのときは、次の書類を作成して来てくだされば、給付も速やかに支給されることになります。

(関係書類)

①請求者、対象児童の戸籍謄本 住民票の謄本

②医師の診断書(作成が困難なときは、添付不要)

③父にかわり、母が監護していることを明らかにした申立書

④父または母が対象児童と同居しない監護していることを明らかにした申立書

⑤養育者のときは、請求者、対象児童の父母の戸籍(除籍)謄本と養育証明書

⑥所得状況届

釈迦内地区に

地盤観測標を設置

県では、地下資源開発が進められている釈迦内地区を中心に地盤観測を行なうことになりました。

この観測は、地下資源開発に伴って当然予想される地盤沈下に対処するために行なうものです。

観測にあたっては、松峰地区を中心に観測標を設置しますが、観測標は、土地所有者のご協力がなければ設置することができませんので、観測標の設置にはよろしくご協力願います。

なお、観測の区域と日程は次のとおりですが、市の係員が土地賃貸のため、お願いにお伺いしますのでよろしくご協力願います。

記

◆立入り区域

大字釈迦内、松峰地区

◆立入調査期間

9月20日から10月20日まで